



Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース No.23
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1976, 23, p. 1-28
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65327
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ACOS 77/S 700 導入に際して

センター長 高 木 修 二

既にお知らせしました(センター・ニュース№21)ように、これまで使用してきたNEAC 2200/500を更新して、ACOS 77シリーズ・システム700を設置し、TSSサービスを中心に10月13日より稼動を開始しました。NEAC 2200/500は阪大にとって因縁の深いシステムでありました。昭和41年に本格的な学内センターの開設に当たり当時の大型機として始めて導入され、昭和43年には日本で初めてのTSSサービスをこれで始めました。当時としては、ICを使用した画期的なハードウェアを持つ最新鋭機でありました。また、TSSシステムも、日本で最初ということもあって、本学の研究者も一部開発に参加し、後には電々公社とも協同して評価なども行ったもので、もちろんいろいろ欠点がありますが、これはこれなりに優れたシステムでありました。しかし、いくらある時点で優れたシステムであっても、進歩の早い計算機の世界で、そう長い間通用するわけには行きません。需要の増大と利用方法の多様化に応えるため、センターでは毎年のようにバッチ処理を含む全システムの更新拡充の計画を立て予算要求をして来ましたが、残念ながらその要求はなかなか認められません。かと言って、このまゝ放置はできませんので、現行予算の枠内で、次期の拡大期のシステム決定に影響を及ぼさない範囲で、システム更新を行うこととし、一番古いシステムであるモデル500を新鋭のものに置換えることにしたのです。新しいシステムであるACOS 77/700は既に紹介(センター・ニュース№21)したように、旧システムに比べて処理能力も格段に高い上に、ソフトウェアも近代的に整備されています。このシステムを主としてTSS用としたのは、一つには旧モデル500の代替ということもありますが、このシステムがオンライン系に注意が払われTSSサービスに適しているということによります。また、センター利用の形態として、できるだけ利用者の研究場所に近いところで居ながらにして計算機を利用できることが望ましいわけですが、その点に関しても、いわゆる会話型の他に会話型リモート・バッチ処理もでき、音響カプラーを利用することで普通の電話でも簡便に利用できるこのシステムを、まずオンライン用として使用することにしましたものです。これによってオンラインでのセンター利用が増すことを期待しています。更に、ACOSシステムはファイルの利用法も多彩である上に、データ・ベース言語も相当整備されています。これによりデータ・ベース的な利用も試みていただくことを期待しています。

このシステムでローカル・バッチ処理を行うことももちろん可能ですが、現在センターが抱えているバッチ処理に関する問題点はこれでは解決致しません。もちろん、予算増が実現すれば、それを機に全システムを新鋭機にかえることとなりますが、予算増が遅れる場合でも、何等かの措置を取るよう現在検討と努力を続けていることを報告しておきます。

利用負担金の改訂について

このたび本センターでは、TSS処理システムを、現在のNEAC2200シリーズモデル500システムから、ACOSシリーズ77NEACシステム700に置き換えることになり、すでに10月13日からテストサービスを開始しております。これに伴って、負担金を改訂することになりました。

つきましては、これを機会にその他についても検討を加えたところ、長時間ジョブのターン・アラウンド・タイムが、他のA,Bジョブより比較的長いこと、あるいは、リモート・バッチの入出力についてはリモート・バッチ・ステーションでの負担がかかることなどを考慮して負担金面で優遇することになりました。

主な改訂部分の概要と負担金の一覧表は次のとおりです。

なお、この改訂は、昭和51年12月1日から実施します。

1) リモート・バッチ処理の基本負担額

NEAC2200及びACOS700の両システムにおいて、リモート・バッチ処理の基本負担額を計算依頼1件につき20円に引き下げます。

2) 長時間ジョブの演算負担額

NEAC2200及びACOS700の両システムにおいて、CPUタイムが900秒までの部分は「CPUタイム1秒につき5円」と変わりませんが、900秒を超える部分については、1秒につき3円に引き下げます。

3) ファイルの使用負担額

従来のファイル以外に、ACOS-ファイルの使用負担額を新たに規定します。これは、バッチ処理、TSS処理の両方とも同じです。

使用月ごとに、申請に基づく割当量が10リンク[※]までの部分については、1リンク当たり20円とし、10リンクを超える部分については、1リンク当たり40円となります。

4) TSS処理

従来のモデル500システムの他にACOS700の負担金を新たに規定します。

基本負担額	計算依頼	1件につき	20円
演算負担額	CPUタイム	1秒につき	5円
センター出力負担額	LP用紙	1ページにつき	5円

ただし、① ACOS700での1会話は、会話開始（LOG-ON手順）から会話終了（LOG-OFF手順）又は、サービス中断の直前のコマンドまでとする。

② ACOS700でのTSSでは、会話型リモート・バッチ処理という新しい利用形態があります。これは、TSS処理で会話中に、リモート・バッチ処理を実行することになりますので、この場合の基本負担額は、TSS処理の基本負担額

とリモート・バッチ処理の基本負担額の両方を合計した金額となります。

※リンクについて

ACOS-ファイルの容量の基本単位は、リンク（LINK）です。1リンクで、3,840語、文字数では、15,360バイトを収容できます。

◎ 利 用 負 担 金 一 覧 表

区 分		負 担 額	
バッチ 処 理	2200シリーズ モデル 700 システム	基 本 負 担 額	計算依頼 1 件につき80円とする。ただし、リモート・バッチ処理については、計算依頼 1 件につき20円とする
		演 算 負 担 額	CPUタイム 1秒につき5円とする。ただし900秒を超える部分については、1 秒につき 3 円とする。
		センタ-出力負担額	LP用紙 1 頁につき5円、カード 1 枚につき 1 円
		リモ-ト出力負担額	LP用紙 1 頁につき 2 円、カード 10枚までごとに 1 円
		ファイル使用負担額	使用月ごとに、申請に基づく割当量が 15UOD までの部分については、1 UOD 当たり10円とし、15 UOD を超える部分については、1 UOD 当たり20円とする。
	ACOS 77 システム 700	基 本 負 担 額	2200シリーズモデル 700 システムに同じ。
		演 算 負 担 額	
		センタ-出力負担額	
		リモ-ト出力負担額	
		ファイル使用負担額	使用月ごとに、申請に基づく割当量が10リンクまでの部分については、1 リンク 当たり20円とし、10リンクを超える部分については1 リンク 当たり40円とする。
T S S 処 理	2200シリーズ モデル 500 システム	基 本 負 担 額	計算依頼 1 件につき20円
		演 算 負 担 額	CPUタイム 1 秒につき 1 円
		センタ-出力負担額	LP用紙 1 頁につき 5 円
		ファイル使用負担額	一端末につき、使用月ごとに 40 UOA を超える部分について UOD に換算し、その換算数 1 UOD 当たり 20 円とする。ただし、その換算数に 1 UOD 未満の端数が生じたときは、これを 1 UOD に切り上げるものとする。
	ACOS 77 システム 700	基 本 負 担 額	計算依頼 1 件につき 20 円
		演 算 負 担 額	CPUタイム 1 秒につき 5 円
		センタ-出力負担額	LP用紙 1 頁につき 5 円
		ファイル使用負担額	バッチ処理の ACOS 77 システム 700 に同じ
ド ラ フ タ ー	使 用 負 担 額	ドラフター使用の計算依頼 1 件ごとに 400 円	

備 考

1. 基本負担額，演算負担額，センター出力負担額及びリモート出力負担額については，計算依頼 1 件ごとに算出するものとする。
2. T S S 処理においては，会話開始（HELLO コマンド又は LOG-ON 手順）から会話 終了（BYE コマンド又は LOG-OFF 手順）又はサービス中断の直前のコマンドまでを計算依頼 1 件とする。
3. CPU タイムに 1 秒未満の端数が生じたときは，これを 1 秒に切り上げるものとする。
4. 会話型リモートバッチの場合の基本負担額は T S S 処理 A C O S 7 7 システム 7 0 0 の基本負担額 2 0 円と，リモートバッチ処理の基本負担額 2 0 円の両方を併せた額とする。

昭和51年度上半期のセンター状況報告

◎月別ジョブ処理状況

JOB区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
オープン	処理件数	3,611	5,209	6,629	6,075	5,816	6,635	33,975
	C P U T	44,433	65,735	86,660	77,194	83,221	89,141	446,384
A	処理件数	1,148	1,486	1,870	2,051	1,744	2,004	10,303
	C P U T	91,787	104,757	138,349	157,858	135,691	147,081	775,523
B	処理件数	1,374	1,666	2,174	2,036	1,757	2,115	11,122
	C P U T	331,583	376,868	468,612	497,342	394,677	441,103	2,410,185
C	処理件数	52	60	120	142	95	185	654
	C P U T	61,195	48,348	128,047	121,369	72,926	149,769	581,654
リモート バ ッ チ	処理件数	170	274	311	312	167	345	1,579
	C P U T	7,888	31,493	17,003	12,413	11,221	7,550	87,568
そ の 他	処理件数	916	828	1,220	1,907	1,108	1,592	7,571
	C P U T	24,158	18,486	19,865	27,933	17,613	14,485	122,540
計	処理件数	7,271	9,523	12,324	12,523	10,687	12,876	65,204
	C P U T	461,044	645,687	858,536	894,109	715,349	849,129	4,423,854
T S S	会 話 数	551	768	810	716	382	571	3,798
	C P U T	50,064	118,698	144,789	88,954	99,878	112,300	614,683

◎ジョブ区分別平均待ち日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
オ ー プ ン	0	0	0	0	0	0	0
A	0.174	0.038	0.043	0.099	0.047	0.080	0.076
B	0.279	0.118	0.081	0.219	0.055	0.183	0.152
C	0.392	0.475	0.508	0.860	0.273	0.801	0.621
全 ジ ョ ブ	0.098	0.034	0.030	0.075	0.022	0.078	0.060

昭和51年度計算機稼動状況

月	4	5	6	7	8	9	合 計	平 均
システム NEAC 2200 モデル 700 (システム1)							記憶容量 1024 KCH (単位, 時間)	
サービス	178:32	193:20	231:25	237:54	206:44	226:42	1274:37	212:26
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備	1:40	4:12	1:53	3:20	2:07	2:10	15:22	2:33
アキ	10:49	7:46	9:09	8:24	10:33	7:44	54:25	9:04
業務	20:13	16:23	17:16	10:52	25:41	15:19	105:44	17:37
小計 (A)	211:14	221:41	259:43	260:30	245:05	251:55	1450:08	241:41
保守 (B)	25:55	19:30	26:25	26:00	23:30	23:55	145:15	24:12
故障 (C)	2:05	0:25	0:00	0:00	0:48	0:00	3:18	0:33
運転時間 (A+B+C)	239:14	241:36	286:08	286:30	269:23	275:50	1598:41	266:26
稼働率 (A/A+B+C)%	88.2	91.7	90.7	90.9	90.9	91.3	90.7	90.7
運転日数 (D)	26	24	26	27	26	24	153	25
一日平均 (A/D)	8:07	9:14	9:59	9:38	9:25	10:29	9:28	9:40

システム NEAC 2200 モデル 500 (システム2) 記憶容量 512 KCH (単位, 時間)

月	4	5	6	7	8	9	合計	平均
サービス	136:34	125:01	141:59	140:25	133:00	127:08	804:07	134:01
開発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備	2:10	2:04	2:12	2:29	2:32	1:49	13:16	2:12
アキ	11:00	13:03	15:19	14:05	15:06	11:19	79:52	13:18
業務	23:08	21:44	12:48	14:38	24:39	16:02	112:59	18:49
小計 (A)	172:52	161:52	172:18	171:37	175:17	156:18	1010:14	168:22
保守 (B)	19:25	17:30	15:45	21:00	17:20	19:55	110:55	18:29
故障 (C)	0:00	1:00	0:00	0:00	0:00	0:50	1:50	0:18
運転時間 (A+B+C)	192:17	180:22	188:03	192:37	192:37	177:03	1122:59	187:09
稼働率 (A/A+B+C)%	89.9	89.7	91.6	89.0	91.0	88.2	89.9	89.9
運転日数 (D)	26	24	26	27	26	24	153	25
一日平均 (A/D)	6:38	6:44	6:37	6:21	6:44	6:30	6:36	6:44

システム NEAC 2200 モデル 700 (システム3) 記憶容量 1024 KCH (単位, 時間)

月	4	5	6	7	8	9	合 計	平 均
サービス	195:21	198:20	247:59	244:43	229:29	241:12	1357:04	226:10
開 発	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講 習	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準 備	1:43	3:19	1:57	2:41	2:06	2:24	14:10	2:21
ア キ	5:27	6:55	9:01	9:45	9:04	8:56	49:08	8:11
業 務	16:48	5:28	5:15	10:05	7:26	8:52	53:54	8:59
小 計 (A)	219:19	214:02	264:12	267:14	248:05	261:24	1474:16	245:42
講 習 (B)	30:25	24:25	24:35	28:48	29:30	19:15	156:58	26:09
故 障 (C)	0:00	7:23	0:25	3:42	0:00	4:55	16:25	2:44
運転時間 (A+B+C)	249:44	245:50	289:12	299:44	277:35	285:34	1647:39	274:36
稼 動 率 (A/A+B+C)%	87.8	87.0	91.3	89.1	89.3	91.5	89.4	89.4
運転日数 (D)	26	24	26	27	26	24	153	25
一日平均 (A/D)	8:26	8:55	10:09	9:53	9:32	10:53	9:38	9:49

***** バッチ利用状況（システム１） *****

（ 51年 7 月 ）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	723 (92.81)	0 (0.00)	0	0	0	0
（ A ジョブ ）		204 (8.20)	18,078	5,236	0	109,238
（ B ジョブ ）		1,897 (76.27)	462,530	79,260	49,347	1,676,734
（ C ジョブ ）		20 (0.80)	14,816	1,442	108	17,146
指導員	12 (154)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.38)	37 (1.48)	5,826	1,385	0	43,893
講習会	14 (1.79)	31 (1.24)	155	306	0	2,508
研究開発	5 (0.64)	7 (0.28)	214	178	192	14,462
業務	22 (2.82)	291 (11.70)	3,451	4,812	0	26,377
合 計	779	2,487	505,070	92,619	49,647	1,890,358

***** バッチ利用状況（システム１） *****

（ 51年 8 月 ）

ジョブ区分別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	746 (93.01)	0 (0.00)	0	0	0	0
（ A ジョブ ）		171 (8.34)	12,456	4,873	0	86,057
（ B ジョブ ）		1,585 (77.35)	351,764	93,969	50,458	1,470,815
（ C ジョブ ）		1 (0.04)	24	7	0	1,155
指導員	12 (1.49)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.37)	19 (0.92)	2,041	860	0	32,006
講習会	14 (1.74)	12 (0.58)	105	197	0	2,488
研究開発	5 (0.62)	0 (0.00)	0	0	0	0
業務	22 (2.74)	261 (12.73)	4,959	5,493	0	25,179
合 計	802	2,049	371,349	105,399	50,458	1,617,700

***** バッチ利用状況（システム1）*****

（51年9月）

ジョブ区別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	764 (92.60)	0 (0.00)	0	0	0	0
（Aジョブ）		154 (6.21)	11,940	4,757	0	80,575
（Bジョブ）		2,023 (81.67)	418,597	98,298	63,441	2,041,854
（Cジョブ）		1 (0.04)	1	6	0	4
指導員	12 (1.45)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.36)	10 (0.40)	492	177	0	19,370
講習会	14 (1.69)	87 (3.51)	645	871	0	6,585
研究開発	5 (0.60)	0 (0.00)	0	0	0	0
業務	27 (3.27)	202 (8.15)	1,701	3,553	0	18,226
合 計	825	2,477	433,376	107,662	63,441	2,166,614

***** バッチ利用状況（システム3）*****

（51年7月）

ジョブ区別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	723 (92.81)	6,075 (62.47)	77,194	94,830	0	1,705,952
（Aジョブ）		1,847 (18.99)	139,780	51,231	0	1,018,801
（Bジョブ）		139 (1.42)	34,812	4,562	4,091	109,468
（Cジョブ）		122 (1.25)	106,553	11,359	4,085	125,263
指導員	12 (1.54)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.38)	242 (2.48)	6,274	4,602	0	189,185
講習会	14 (1.79)	577 (5.93)	3,289	6,656	0	68,163
研究開発	5 (0.64)	62 (0.63)	246	737	0	14,085
業務	22 (2.82)	660 (6.78)	8,478	4,169	0	52,420
合 計	779	9,724	376,626	178,146	8,176	3,283,337

***** バッチ利用状況（システム3）*****

（51年8月）

ジョブ区別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	746 (93.01)	5,816 (68.65)	83,221	89,332	0	1,808,558
（Aジョブ）		1,573 (18.56)	123,235	44,254	0	871,286
（Bジョブ）		172 (2.03)	42,913	9,076	2,657	159,788
（Cジョブ）		94 (1.10)	72,902	8,804	2,992	108,283
指導員	12 (1.49)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.37)	169 (1.99)	4,202	3,272	0	131,708
講習会	14 (1.74)	189 (2.23)	1,170	2,128	0	28,542
研究開発	5 (0.62)	1 (0.01)	6	14	0	290
業務	22 (2.74)	457 (5.39)	5,130	3,130	0	30,787
合　　計	802	8,471	332,779	160,010	5,649	3,139,242

***** バッチ利用状況（システム3）*****

（51年9月）

ジョブ区別	課題申請	処理件数	CPU時間	プリンター	カードパンチ	カードリード
利用者（オープンジョブ）	764 (92.60)	6,635 (65.99)	89,141	105,747	0	1,957,620
（Aジョブ）		1,850 (18.40)	135,141	50,478	0	921,253
（Bジョブ）		92 (0.91)	22,506	4,294	1,666	77,880
（Cジョブ）		184 (1.83)	149,768	16,181	14,412	261,359
指導員	12 (1.45)	0 (0.00)	0	0	0	0
ライブラリー開発	3 (0.36)	95 (0.94)	1,096	1,847	0	72,478
講習会	14 (1.69)	750 (7.45)	4,640	8,753	0	89,389
研究開発	5 (0.60)	17 (0.16)	50	172	0	357
業務	27 (3.27)	431 (4.28)	5,861	2,662	0	38,622
合　　計	825	10,054	408,203	190,134	16,078	3,418,958

「速報」及び「お知らせ」の集録

速報No.36(1976.10.6), 速報No.37(1976.10.25), おしらせ(1976.10.6)を掲載します。

〈速報No.36〉

ACOSシリーズ77NEACシステム700(S700)

によるTSS処理等の運用開始について

先にお知らせしました新システムについて予定通り9月中旬に導入、現調等も順調に終り、現在センター内において運用開始の準備作業を行っております。

運用方法等についても一応の検討を終えましたので下記の通り決定した事項についてお知らせします。

なお、新システムでの運用でもありセンターとしてサービス開始後の明確な予測を立てにくい面も多々あり、結果次第によって運用を変更することを考えておりますので、とりあえずは今年度中の暫定運用として取り扱いますので、この点お含み置き下さるとともに利用者の方々の積極的な御意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

記

1. S700の利用

当面はTSSと会話型リモートバッチ処理(CRJE)のサービスのみとします。

たゞしリモートバッチ処理は今後の端局側の動向により検討することとなります。

また、ローカルバッチ処理については今回のシステム構成のもとでは原則的には行わないものとしますが、当初接続端末数が少ないこと等もあり今年度限りの処置として11月中旬以降サービス開始の方向で検討しておりますので運用方法等決定次第お知らせします。

なお、ACOS-6 TSS等の詳細はマニュアルの外10月初旬開催のACOS TSS 講習会資料を参照して下さい。

(1) 使用できるプログラミング言語

○ TSS処理の時

FORTRAN, BASIC, ALGOL, JOVIAL, ABACUS

○ CRJE等その他の処理の時

FORTRAN, ALGOL, JOVIAL, PL/1, GMAP, COBOL

たゞし、JOVIAL言語を使用中障害が発見されても修正は行えませんのでこの点御了承のうえ御使用下さい。

なお、FORTRANについてはセンターニュースNo.22(ACOS-6 FORTRAN について)に掲載しておりますので参照して下さい。

(2) 利用可能なアプリケーションシステム

別表 1 のとおりです。

(3) TSS ユーザー使用最大メモリー 240KB(60KW)

なお、CRJE の場合 420KB(105KW)まで可能ですが 240KB 以上になりますと TSS 使用状況により計算処理が遅れることがあります。

(4) ACOS システム用ファイル

ACOS-6 ファイルシステムは現在モデル 500 システムの TSS ファイルのようにグループ単位で使用されるものではなく現モデル 700 の利用者ファイル(UF)に近いもので利用者個人に割り当てられるものと従来のようにジョブの実行時に一時的に使用するワークファイル的なものがあり、それぞれパーマネントファイルとテンポラリファイルに分類されています。個人専用のパーマネントファイルを使用するときは必ず現利用者ファイル開設承認申請と同じように別紙様式「ACOS-ファイル利用登録申請書」(以下「登録申請書」という。)を前もって提出承認を受ける必要があります。

このファイルの有効期間をどの程度にするかは今後検討することとなりますが今回はとりあえず暫定期間の 5 1 年度中とします。

(5) ACOS システム用ユーザパスワード(ログオンパスワード)

このパスワードは従来のモデル 700 のパスワードとは別で、ACOS システムに必要なものであり登録申請書によって承認された利用者はそのパスワードを、その他の利用者(テンポラリファイルのみ利用する者で登録申請を必要としない場合)は「HANDAI」で統一します。

(6) サービス時間

従来通りとしますが、10 月中における木曜日の午後はセンター内での端末移行作業の準備等のためサービスは行いませんので御注意願います。

月 火 水 金	9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
木	1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
土	9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0

(7) サービス開始時期

センター内設置のミニプリンタ NM3000(3 台)を含め昭和 51 年 10 月 13 日(水)から開始します。

ミニプリンタの使用申し込み方法等利用については従来の NEAC-TYPE R と同様としますので所定の申し込みをして利用して下さい。

なお、新システムで開始する公衆網サービスについても同 13 日からとしますので、設置される端局は所定の端局設置申請書(端局設置・使用細則を改正センター・ニュース No.22 に掲載)を提出承認を受けて下さい。

ただし、電々公社の承認が遅れておりますので吹田キャンパス内のみとします。

内線番号は 2861, 2862 の 2 回線です。

(注) 外線電話については公社の承認があり(2回線の代表番号)が判明次第お知らせします。

(8) 利用者用マニュアル

当面必要なマニュアルは別表 2 のとおりです。入手を希望される方は、次の所へお申し込み下さい。

〒541 大阪市東区北浜5丁目15番地

日本電気株式会社情報処理

大阪システム事業部第一営業部

TEL (06) 220-4793

2. S700利用のための手続き

計算課題の申請と承認について課題番号は全システム共通であり申請手続きは従来通り変更ありませんので既に課題番号が付与されている利用者はその課題で新システムも利用できますので、あらためて利用申請書を提出していただく必要はありません。

新たな申請手続きとしては1-(4)の登録申請のみです。

3. TSS端末等の移行

電々公社との詰めが終わっていないため詳細については決定しておりませんが、おおよその計画は次のとおりです。

いずれにしろ移行スケジュールはファイルの移行と合せて端局個々と連絡をとって行います。

50BPS端局(6020端末) 51年11月10日から吹田キャンパス内のものから開始する

1200BPS端局(6040端末) 52年4月から

現モデル500システムでのTSS処理は52年6月末までを予定しております。

なお、センター内設置のNEAC-TYPER 3 台のうち2台は11月初旬にACOSシステムに接続移行し、1台は現状のままモデル500システムの端末機として残す予定です。

4. S700のプログラム相談等について

今年度中は次のとおり行います。

○ 研究開発部担当

言語等

まず、プログラム相談室で受け、解決しない場合は相談員の指示によって次の担当者まで申し出て下さい。

FORTRAN 磯本, 後藤(内線 2833, 2836)

コマンド等 多喜 (内線 2837)

○ 業務掛担当(内線 2823)

運用, 端末操作等 佐々木, 中島, 西

ジョブコントロールカード 青井, 北本

昭和 年 月 日

ACOS－ファイル利用登録申請書

大阪大学大型計算機センター長 殿

下記のとおり新規登録を申請します。

職名又は身分		氏 名		印		
連絡先	所在地	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
	大学	学部	学科	研究室又は講座名		
	TEL 市外局番 () 局番 () 番号 () 内線 ()					
課 題 番 号						注 1
ACOSシステム用 ユーザパスワード						注 2
ファイル使用 量	リ ン ク		最大 30 リンクまで			注 3
利用予定端末番号						注 4
備 考						

注 1) 計算機利用申請書記載の課題番号を記入のこと。

注 2) 任意の12桁以内の英数字で途中に空白を入れずに左づめに記入のこと。

注 3) 1 リンクが 3840 W に相当します。

注 4) 利用予定端末がない場合は空白で結構です。

- この申請書を提出されない方はパーマネントファイルを使用できません。

(別表1)

ACOS アプリケーション一覧表

アプリケーション システム名	略 称	処 理 形 態	
		TSS	その他
1. 数値計算ライブラリ	MATHLIB-6	○	○
2. タイムシェアリング ライブラリ	TSS/LIB-6	○	
3. システムダイナミックス言語	DYNAMO/F-6		○
4. 離散型シミュレーション	GPSS/V-6		○
5. 統計解析システム	STATPAC-6		○
6. 数理計画システム	MPS-6		○
7. 連続型シミュレーション	CSPL-6		○

(注) 1. 51. 10. 13現在のものです。

2. 使用法についてはマニュアルを参照して下さい。ただし、オブジェクト・プログラムファイルはディスク化してありますので、実行はすべてディスクベースとなります。利用方法等詳細は後日お知らせします。

(別表2)

マ ニ ュ ア ル 一 覧 表

資 料 名	コ ー ド	備 考
システム概説書	FAZ01	
システム説明書	FCZ01	
ジョブ制御言語説明書	FDA02	○
タイムシェアリングシステム説明書	FEF02	○
タイムシェアリング会話型リモートバッチ説明書	FEF06	○
タイムシェアリングテキストエディタ/ランオフ説明書	FEF07	○
COBOL-B- 文法説明書	FGA01	
COBOL 文法説明書	FGA02	
COBOL-B- プログラミング説明書	FGA03	
COBOL プログラミング説明書	FGA04	
FORTRAN文法説明書	FGB02	○
FORTRANプログラミング説明書	FGB03	○
FORTRANサブルーチンライブラリ説明書	FGB04	○
ALGOL 概説書	FGC01	
ALGOL 文法説明書	FGC02	
ALGOL プログラミング説明書	FGC03	
PL/1 概説書	FGD01	
PL/1 文法説明書	FGD02	○
PL/1 プログラミング説明書	FGD03	○
GMAP 説明書	FGE01	
BASIC 説明書	FGH01	○
デバッグ/トレース説明書	FGJ05	○

資 料 名	コ ー ド	備 考
アプリケーション概説書	FXZ01	
数値計算ライブラリ (MATHLIB-6) 説明書 (概念 / 機能編)	FXF01	○
数値計算ライブラリ (MATHLIB-6) 説明書 (別冊)	FXF02	○
数値計算ライブラリ (MATHLIB-6) 説明書 (例題編)	FXF03	○
タイムシェアリングライブラリ (TSS / LIB-6) 説明書 (数値計算編)	FXQ02	
タイムシェアリングライブラリ (TSS / LIB-6) 説明書 (統計計算編) …12月発行予定	FXQ03	
システムダイナミックス言語 (DYNAMO / F-6) 説明書	FXE12	
離散型シミュレーション言語 (GPSS / V-6) 説明書	FXE02	
統計解析システム (STATPAC-6) 説明書 (概念 / 機能編)	FXB02	
統計解析システム (STATPAC-6) 説明書 (操作編)	FXB03	
統計解析システム (STATPAC-6) 説明書 (操作編, 別冊)	FXB99	
数理計画システム (MPS-6) 説明書	FXA02	
数理計画システム (MPS-6) アジェンダ制御言語説明書	FXA03	
数理計画システム (MPS-6) マトリックスゼネレータ言語 説明書	FXA04	
数理計画システム (MPS-6) フォーマットゼネレータ語 語説明書	FXA05	
数理計画システム (MPS-6) 説明書 (例題編)	FXA06	
連続型シミュレーション言語 (CSPL-6) 説明書	FXE22	

(注) ○印のマニュアルは本センター及び豊中、中之島地区データ・ステーションに備え付けています。

<速報 Ⅲ37>

I ACOSシステム700における暫定 バッチ処理について

速報Ⅲ36でお知らせしましたバッチ処理 (今年度中の暫定運用) について、次のとおりサービスを行いますのでお知らせします。

1 サービス開始時期

11月16日からとします。

なお、ジョブの受け付けについても同日からとします。

2 システムの利用範囲

使用できるプログラミング言語は、速報Ⅲ36を参照してください。

処理対象ジョブは表1の制限内のジョブで、ワークファイルはディスクのみとします。

なお、カード出力はできません。

表1 バッチジョブの制限値

CPU時間	60分
メモリ容量	105KW
LP出力枚数	100頁
カード入力枚数	4700枚
カード出力枚数	不可
入出力時間	60分
ワークディスク ¹⁾	10リンク
ワークテープ	不可

1) 1リンク≒3840ワード

3 受付方法

利用者が作成したソースプログラムおよびデータを1つのジョブとして処理させるためには次のいずれかの方法でジョブ処理を依頼します。

なお、従来の\$Ⅲカード、\$JOBカードにかわり、\$SNUMBカード、\$IDENTカードとなります。(センター及び豊中データ・ステーションに用意してあります。)

(1) センター受付

計算依頼はカードデッキをジョブ受付窓口へ提出してください。

\$ IDENTカードには

カラム

1

8

16

\$ IDENT 課題番号 をパンチしてください。

(2) 豊中及び学外からの受付

\$ IDENTカードには

カラム

1

8

16

26

\$ IDENT 課題番号 , MAIL

とMAILのオペランドを必ず指定してください。

センター留め置きの場合は(, MAIL)の指定はいりません。

注) 従来の\$MAILとパンチしてある計算依頼カードは使用できません。連絡所送りの場合はセンター留め置きの計算依頼カードに連絡所送りと明記してお使いください。

4 返却方法

\$IDENTカードのMAILの有無によりセンター返却棚又は連絡所へ返却されます。

(1) MAILのない場合

計算結果は、受付番号(\$ SNUMBカード)の下2桁の返却棚に返却します。

(2) MAILのある場合

計算結果は、学内コンテナ便、学外コンテナ便又は郵送によって連絡所に返却します。

5. 使用説明書

「ACOS用暫定BATCHジョブ使用説明書」が本センター及び豊中・中之島地区データ・ステーションに用意してあります。

その他の希望者は共同利用掛(内線2817)までお申し出ください。

II ACOSシステム700によるTSSの利用について(その1)

TSS利用について、今後具体化したものから順次お知らせすることとします。

なお、今回の利用については11月1日(月)から開始します。

1 CENTER OUTPUTの方法

BPRINTとJOUTの2つの方法があります。

1) BPRINTの使用法

o BPRINT F1;*;F2;F3;.....(カレントファイル.....*)

指定されたパーマメントファイル及びカレントファイルの内容がBCDコードに変換され、センターのライン・プリンターに出力されます。

(*) 端末からのタイプ入力例

SYSTEM? BPRINT.....ビルドモードでも使用可

INPUT FILES FOR T.....ファイル名

\$ IDENT 課題番号 , 識別名

LABELS? N

SNUMB # 3456 T

SYSTEM?

XXXXXXXXXX
3 4 5 6 T
XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX
BOX-xx
XXXXXXXXXX

(プリント出力表紙)

。 プリント出力は S N U M B 文の " T " を除いた下 2 桁の番号が返却棚番号となります。
 連絡所送りの場合は識別名に " M A I L " と指定すれば " M A I L - 課題番号上 4 桁 " と花
 文字で表示されます。

" M A I L " 以外を指定すると " B O X - 課題番号下 2 桁 " が花文字で表示されます。

LABELS? に対する応答	ASIS (A)	ファイル上の形式 のまま編集しない	abcde1(i,J) ₁ ;	ライン番号を 73-80 桁に移し、 ライン番号 (i,J)k をもつカードに対し て 73-80 に左詰め で abcdek というプレ フィックスをつける
	STRIP(S)	ライン番号除去	abcde2(i,J) ₂ ;	
	MOVE (M)	ライン番号を 73-80 に移す	⋮	
	NORM (N)	MOVE 及び 標準タブセット (:,8,16,32,73)	abcde n(i,J) _n	

2) J O U T の使用法

C A R D I N サブシステムを用いての C E N T E R O U T P U T 方法。

S Y S T E M ? C A R D

(

* R U N

S N U M B # 5 6 7 8 T

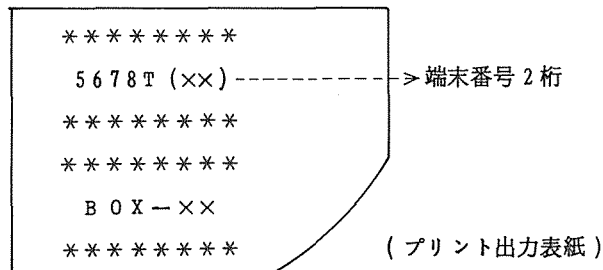
(

S Y S T E M ? J O U T 5 6 7 8 T

または

* J O U T 5 6 7 8 T

F U N C T I O N ? D I R E C T O N L



6 出力結果は S N U M B 文の " T " を除いた下 2 桁の番号が返却棚番号となります。
 また、連絡所送りの場合は \$ I D E N T 文の識別名に " M A I L " と指定して下さい。その

場合、プリント出力表紙上に“MAIL—課題番号上4桁”と花文字で表示されます。
また、“MAIL”以外を指定すると、“BOX—課題番号下2桁”と花文字で表示されます。

2 CENTER INPUT (CINPUT) の方法

(1) CINPUT 受付返却方法

- * 受付 JOB受付でCINPUT依頼カードと、\$SNUMBカードを受け取り、必要事項を記入の上窓口へ提出して下さい。
- * 返却 返却方法は、課題番号の下2桁を持って返却棚にリスト及びカードを返却します。
(詳細はIDENTカードの説明で)

(2) CINPUT に対する注意事項

CINPUTに際し必ず先にUSERのパーマネントファイルにACCESSサブシステムを用いてカタログ及びファイルの作成を行っていただければなりません。

GENERAL PERMISSIONはWRITEと指定します。

(3) 構成 カード説明

ACOS-6システムにおけるCINPUTはBATCHJOBとして処理されますので、それに伴いJCL構成カードを説明します。

ア。SNUMB カード

①カラム	⑧カラム	⑩カラム
\$	SNUMB	×××××

イ。IDENT カード

①	⑧	⑩
\$	IDENT	課題番号、識別名

- 。連絡所送りを希望する時には識別名の欄に“MAIL”と指定して下さい。
- 。識別名の欄にMAIL以外を指定すると“BOX—課題番号下2桁”が花文字で表示されます。

ウ。USERID カード

①	⑧	⑩
\$	USERID	課題番号\$パスワード

パーマネントファイルをアクセスする為に用いる。

エ。 PROGRAM カード

①	⑧	⑩
\$	PROGRAM	TSCONV

オ。 PRMFL カード

①	⑧	⑩
\$	PRMFL	FT, R/W, L, 課題番号/ファイル名

FT: }
 R/W: } パーミッションの指定
 L: } 必ずこの様に指定する。

ファイル名: ACCESSサブシステムで指定したファイル名
 もしカタログ構造を持っていれば
 (カタログ名/ファイル名と指定)

カ。 INPUT カード

INPUTカードの指定には、登録するソースカード及びデータカードにラインナンバーを付加する指定と付加しない指定があります。

(ラインナンバー付加しない)

①

INPUT, <u>ASIS</u> , i, J

ASIS: 入力されるカードにラインナンバーを付加しないで登録を行う。

i; J: 入力されるカードのiカラムからJカラムまでの間の内容を登録する。

省略の場合は1カラムから80カラム

(ラインナンバー付加)

①

INPUT, <u>INSERT</u> , i, J, m, n

INSERT: 入力されるカードにラインナンバーを付加して、登録を行う。

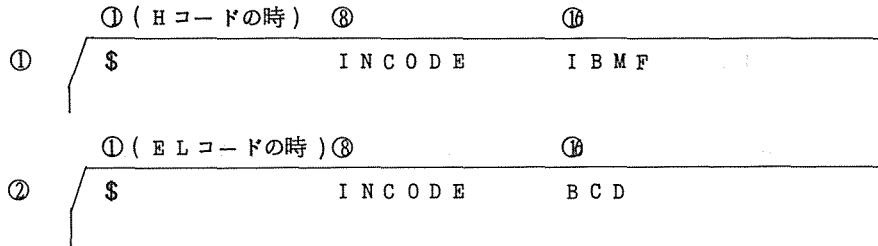
i, J: 入力されるカードのiカラムからJカラムまでの間の内容を登録する。

省略の場合1カラムから72カラム

m, n: ラインナンバーがmから始まりnづつ増加する。

省略の場合10から始まり10づつ増加

キ. INCODE カード

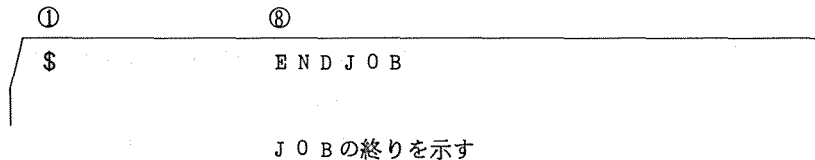


- 登録を行うカードデッキがHコードの時は①のカードを登録カードデッキの前に挿入する。
- 登録するカードデッキがELコードの場合は②のカードを登録カードデッキの前に挿入するもしくは省略。
- もしHコードとELコードが混合の場合はその都度①と②のカードを挿入する。

ク. 登録カードデッキ

パーマネントファイルへ登録するカードデッキ

ケ. ENDJOB カード



Ⅲ 公衆網サービスについて

速報№36でお知らせしました吹田キャンパス外からの利用について、電々公社の承認が遅れておりましたが、11月1日(月)から使用可能となります。

なお、外線電話番号は次の通りです。

06-876-3241(2回線の代表番号)

Ⅳ デマンドプリンティング方式の採用について

デマンドプリンティングとは、ファイルに保存されているバッチ・ジョブの計算結果を、利用者がセンターにきて随時計算結果を取り出す方式で既存のラインプリンター2台と新たに入出力タイプライター2台を導入して一部採用することになりました。

これらのサービスエリア（返却棚付近）に当てるための改造工事も終わり、来年早々からの運用開始を目ざし、準備作業を行っております。

運用方法等詳細については決定次第お知らせします。

〈速報No.38〉

2. ACOSシステム700におけるアプリケーションシステムについて速報No.36でお知らせしましたアプリケーションシステムについて、次のとおりサービスを行いますのでお知らせします。

1) サービス開始時期

12月1日からとします。

2) 「ACOS用アプリケーション利用説明書」をセンター及び、豊中データ・ステーションに用意してあります。

※時系列計量経済分析システムについては、大容量のワーク・ディスクを使用しますが、現在ディスク1台テスト中のため使用できません。

3) 各アプリケーションの詳細な機能については、センター・ニュースに掲載する予定です。

3. 年末年始の業務について

年末年始の業務を下記のとおり実施しますのでご留意願います。

記

項 目	年 末 (終 了)	年 始 (開 始)
(1) 計算依頼の受付・処理等 受付窓口及び時間外キャビネット オープン入出力装置室 利用者入力の利用 オープン・パッチの利用	51年12月 27日(月)まで 24日(金)まで	52年1月
(2) TSS(N500, ACOS)端末の利用	} 25日(土)まで	} 5日(水) 1時から
(3) ドラフターの利用		
(4) PCS(媒体変換)の利用		
(5) オープンパンチ室、デバック室及び カード保管室の利用	} 27日(月) 12時まで	
(6) プログラム相談	24日(金)まで	10日(月)から
(7) 1階返却だな	28日(火)12時まで	5日(水) 1時から

注) 1. 受付等の開始及び終了時刻は、それぞれきめられた時刻で行います。

ただし、12月23日(木)、1月6日(木)のオープン入出力装置室及びTSS端末の利用については当日定期保守日となっていますが、これを中止し、午前中からサービスを行います。

2. 年内に処理できないジョブは明年1月5日以降の処理となります。

3. 学外利用者の計算依頼については郵便事情等の問題もありますので、できるだけ早く行って下さい。

<おしらせ(1976.10.25)>

受付事務の窓口移転について

本センターでは、10月から「共同利用掛」が新設されたことに伴って事務機構の改革を行うことになりました。

これを機会に、計算機利用に係る諸手続の窓口を一本化して利用者の便を計るべく下記のとおり窓口事務を移転しましたので、利用者の皆さんの御協力をお願い致します。

記

1. ジョブ受付(1階正面)

- 計算機利用申請書の提出
- 端局設置申請書等の提出
- ファイル関係の申請書の提出
- 計算依頼・穿孔依頼の受付
- 特殊ジョブの計算依頼の受付
- 磁気テープ持ち込みジョブの受付
- 端末利用の申込み
- カードロッカーの使用申込み
- 媒体変換用 FACOM-U200 の使用申込み
- 希望・質問票の受付
- プログラム・ライブラリーの閲覧
- ドラフターの使用申込み

2. 一般受付(1階玄関右側)

- 利用者旅費の手続及びジョブ優先カードの発行
- センター見学・案内の申込み
- センター・ニュース等の定期刊行物の配布

(速報等についてはジョブ受付に備えてあります。)

3. 共同利用掛（1階事務室内）

上記書類等の提出は、ジョブ受付ですが、記入要領等内容に関すること（利用申請及び端局設置申請等）については、共同利用掛で受け付けます。

内線電話番号

共同利用掛（長） 2816

// 2817